

特別展

# 高麗

—ヒスイのきらめき

# 青磁

2018. 9.1(土) — 11.25(日)

休館日：月曜日(9月17日、9月24日、10月8日は開館)、  
9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

大阪市立  
東洋陶磁美術館



高麗王朝の夢、輝く。

Special Exhibition:

# Sparkles of Jade

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

Goryeo Celadon

重要文化財 青磁陽刻龍波濤文九龍淨瓶 高麗時代・12世紀 大和文華館蔵 写真：六田知弘

●観覧料：一般1,200円(1,000円)、高校生・大学生700円(600円) ※( )内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(証明書等提示) ●主催：大阪市立東洋陶磁美術館、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿、毎日新聞社 ●特別協賛：韓国国立中央博物館 ●特別協力：東京国立博物館 ●協力：CCS株式会社 ●後援：駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院  
同時開催：[平常展]安宅コレクション中国陶磁、安宅コレクション・李秉昌コレクション韓国陶磁、日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺



浄瓶は仏前に供える  
浄水を入れる仏具の一つです。



①

化粧道具などを収める箱です。



⑧

高麗青磁は高麗王朝(918-1392)の滅亡とともに姿を消し、人々にもほぼ忘れられた「幻のやきもの」でした。ところが19世紀末から20世紀初頭にかけて、王陵をはじめとする墳墓などから掘り起こされ、再び世に現れました。翡翠のきらめきにも似た美しい釉色の高麗青磁は、瞬く間に当時の人々を魅了し、その再現品もつくられるなど、一躍脚光を浴びました。高麗王朝では仏教が国家の宗教となり道場や儀礼、喫茶具や飲酒具などに用いられるものとして高麗青磁が誕生し、独自の発展を遂げました。高麗王朝建国1100周年にあたる2018年、本展覧会では、「祈り」と「喫茶文化」、「飲酒文化」を切り口に大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の作品を中心に国内の代表作も加えた約250件により、高麗青磁の新たな魅力を紹介いたします。さらに、今回は近代の高麗青磁再現品も併せて展示し、当時の人々の高麗青磁に対する熱狂と再現への努力を紹介します。大阪市立東洋陶磁美術館としては約30年ぶりに満を持して開催する高麗青磁の一大特別展を、ぜひご堪能ください。

Coryco Celadon

# Sparkles of Jade

Special Exhibition:

「九龍灌頂」の説話にちなんで、九龍をモチーフにした作品。  
九龍の口から浄水が注がれるしくみになっています。



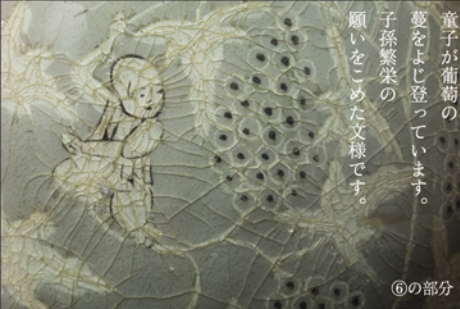
⑦

水や酒などを注ぐための注器です。



⑥

童子が菖蒲の  
葉をよじ登っています。  
子孫繁栄の  
願いをこめた文様です。



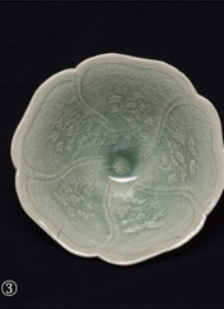
⑥の部分



⑤



④



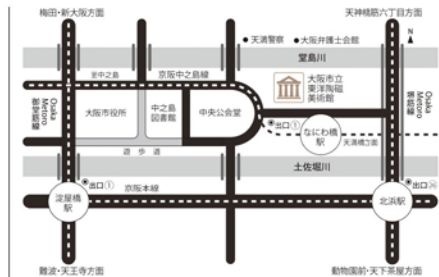
③



②

- ①重要文化財 青磁陽刻蓮唐草文浄瓶 高麗時代・12世紀 根津美術館蔵
- ②重要美術品 青磁陰刻蓮花文三耳壺 高麗時代・12世紀 大阪市立東洋陶磁美術館蔵 写真:六田知弘
- ③青磁陽刻菊花文碗 高麗時代・12世紀 大阪市立東洋陶磁美術館蔵 写真:六田知弘
- ④青磁輪花盤 高麗時代・12世紀前半 静嘉堂文庫美術館蔵

- ⑤青磁鉢 高麗時代・12世紀前半 寧楽美術館蔵 写真:若松保広
- ⑥青磁象嵌童子菖蒲文瓠形水注 高麗時代・12-13世紀 大阪市立美術館蔵 写真:六田知弘
- ⑦重要文化財 青磁陽刻菊花文龍浄瓶 高麗時代・12世紀 大和文華館蔵 写真:六田知弘
- ⑧青磁透影唐草文箱 高麗時代・12世紀 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives



The Museum of Oriental Ceramics, Osaka  
大阪市立東洋陶磁美術館 moc osaka

交通 ●京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ  
●Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、  
Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m  
問い合わせ 大阪市立東洋陶磁美術館  
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26(大阪市中央公会堂東側)  
電話06-6223-0055 Fax06-6223-0057  
ホームページhttp://www.moco.or.jp

特別連携 大阪市立東洋陶磁美術館 大和文華館 寧楽美術館  
「特別展 建国1100年 高麗—金属工芸の輝きと信仰—」  
10月6日(土)〜11月11日(日)  
寧楽美術館  
「翡翠と象嵌の高麗青磁・型押しし朝顔粉青沙器」  
10月1日(月)〜2019年2月24日(日)  
詳しくは館内、または各館ホームページでご確認ください。

ミニレクチャー  
2018年9月22日(土)、10月7日(日)、11月4日(日)  
いずれも午後2時から約30分間(受付開始1時45分)  
◎場所・大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂  
◎定員・70名(当日先着順)  
◎参加費・無料(ただし、本展の観覧券が必要)  
※連続講座およびその他の詳細は決まり次第、  
当館ホームページ(http://www.moco.or.jp)にて随時お知らせします。

記念講演会  
「高麗仏画から見る祈りの文化」  
講師・井手誠之輔氏(九州大学教授)  
日時・2018年9月23日(日)  
午後2時〜4時(受付開始1時30分)  
定員・70名 事前申込制(申込締切9月11日(火)必着)  
館長講演会  
「宋磁と高麗青磁」  
講師・出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館館長)  
日時・2018年9月8日(土)  
午後2時〜4時(受付開始1時30分)  
定員・70名 事前申込制(申込締切8月25日(土)必着)  
◎場所・大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂  
◎参加費・無料(ただし、本展の観覧券が必要)  
※お申込方法にご注意  
※往復はがきにて講演会の日時・住所氏名電話番号を明記の上、東洋陶磁美術館  
学会課までご郵送ください。(はがき一枚につき1講演1名様有効)  
応募者多数の場合は抽選となります。  
お申込の際にいただく住所氏名などの個人情報保護に留意し、  
本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。